

Kit Components

Product code	Description
3018-0010	Neonatal Biotinidase kit 3018-0010, 3018-001B

Components:

13805677	Biotinidase Substrate Reagent
13805676	Biotinidase Reconstitution Buffer

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

項目 1: 化学品及び会社情報

- 製品識別子
- 化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent
- 製品コード 13805677
- 該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途
- 製品カテゴリー PC21 Laboratory chemicals
- 推奨用途
In vitro diagnostics

実験用化学物質

- 安全データシートの供給元の詳細情報
- 供給者の会社名称,住所及び電話番号
Revvity Inc.
Wallac Oy
P.O. Box 10
FI-20101 Turku
Finland
+358 2 2678 111

- その他の情報問い合わせ先:
Product safety department. +358-2-2678 111
MSDS_Turku@revvity.com

- 緊急連絡電話番号
CHEMTREC (米国内から) 800 424-9300
CHEMTREC (米国外から) +1-703-572-3887

日本国内問合せ先:
住所:神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークテクニカルセンター4F
電話番号:045-339-5864
FAX番号:045-339-5874
緊急連絡電話番号:同上

項目 2: 危険有害性の要約

- 化学品のGHS分類



急性毒性(経口) 区分4 H302 飲み込むと有害

- GHSラベル要素(絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き)
- GHS ラベル要素

The product is labelled according to the IVD regulation
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

- 絵表示



GHS07

(2ページに続く)

JP

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(1ページの続き)

- 注意喚起語 警告
- 危険と定められた成分をラベル表示:
(R*,R*)-1,4-dimercaptobutane-2,3-diol
- 危険有害性情報
飲み込むと有害
- 注意書き
取扱い後はよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
飲み込んだ場合: 気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出
- GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

危険な含有成分:

3483-12-3	(R*,R*)-1,4-dimercaptobutane-2,3-diol 急性毒性(経口) 区分3, H301; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	≥5-<10%
7664-38-2	りん酸 皮膚腐食性/刺激性 区分1B, H314 特定濃度限界: Skin Corr. 1B; H314: C ≥ 25 % Skin Irrit. 2; H315: 10 % ≤ C < 25 % Eye Irrit. 2; H319: 10 % ≤ C < 25 %	2.5-5%

項目 4: 応急措置

- 応急手当処置に関する説明
- 一般情報:
中毒症状は時間がかかり経過した後に現れる場合もあるため、事故後最低 4 8 時間は医師の監視のもとで過ごすこと
- 吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- 皮膚に付着した場合 一般的にはこの製品は皮膚には刺激はない
- 眼に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ
- 飲み込んだ場合 即医師を呼ぶ
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。
- 何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

項目 5: 火災時の措置

- 消火剤
- 適切な消火剤 周辺の状況に合わせた消火措置を取る
- 本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- 特別な保護装備: 特別な措置は必要としない

JP
(3ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(2ページの続き)

項目 6: 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 必要ない
- 環境に対する注意事項 特別な措置は不必要
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する
- 他のセクションへの言及
危険な成分は漏出ししない
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
廃棄処分に関しては 13 項参照

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 正しい利用方法の場合には特別な措置は必要ない
- 火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- 混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- 保管
保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし
- 同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない
- 保管条件に関するその他の注意事項: ない
- 特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

項目 8: ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

作業場において限界値の監視を要する成分:

7664-38-2 リン酸

OEL 長期値: 1 mg/m³

- 追加注意事項: 生成時に有効なリストがもともになっている
- 設備対策
技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照
- 保護具
一般防止措置および衛生措置:
食物、飲み物、飼料からは遠ざける
休憩の前、作業終了後には手を洗う
- 呼吸保護器具: 必要ない
- 手の保護:
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない
テストをおこなっていないため、物質/調合剤/化合物を取り扱う際の手袋の材質として勧められるものはない
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する
- 手袋材
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- 手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- 眼の保護: 必要

項目 9: 物理的及び化学的性質

- 基本的な物理及び化学特性に関する情報
- 一般指示事項
- 物理状態

個体

(4ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(3ページの続き)

・色	製品説明書どおり
・臭い	硫黄のような
・嗅覚閾値	決まっていない。
・融点/凝固点(混合物の場合は、記載省略可)	決まっていない
・沸点又は初留点及び沸点範囲	決まっていない
・可燃性	決まっていない。
・爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
・下限:	決まっていない。
・上限:	決まっていない。
・引火点	情報なし
・分解温度	決まっていない。
・pH	情報なし
・粘性:	
・動粘性率	情報なし
・力学的:	情報なし
・溶解度(混合物の場合は、記載省略可)	
・水:	不溶性
・n-	
・オクタノール/水分配係数(log値)(混合物の場合は、記載省略可)	決まっていない。
・蒸気圧	情報なし
・密度及び/又は相対密度	
・密度:	決まっていない
・相対的密度	決まっていない。
・蒸気密度	情報なし

・その他のデータ	
・外観	
・形:	個体
・健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項	
・発火温度:	プロダクトは自然発火しない
・爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない
・溶剤含有量:	
・固形物含有量:	100.0 %
・状態の変化	
・酸化速度	情報なし

項目 10: 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。
- ・危険有害な分解生成物 危険な分解プロダクトはない

項目 11: 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性 飲み込むと有害
- ・皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

(5ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(4ページの続き)

- 発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 呼吸器に危険 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

* 項目 12: 環境影響情報

- 毒性
- 水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- 残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- 生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
- 土壤中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- 内分泌かく乱作用 本製品は内分泌かく乱性物質を含まない
- オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- 他の副作用
- その他のエコロジーに関する注意事項:
- 一般注意事項:
水への危険度分類 2 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性あり
地下水、河川あるいは下水設備に流してはならない
地下に少量流れ込んでも飲料水を汚染する

項目 13: 廃棄上の注意

- 化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- 勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- 洗浄されていないパッケージ:
勧告: 特殊廃棄物回収業者に引き渡すか、危険物質集積所に持ち込む
- 推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使って

項目 14: 輸送上の注意

- | | |
|----------------------|------|
| 国連番号 | |
| ADR, ADN, IMDG, IATA | 無効 |
| 品名(国連輸送名) | |
| ADR, ADN, IMDG, IATA | 無効 |
| 国連分類(輸送における危険有害性クラス) | |
| ADR, ADN, IMDG, IATA | |
| 分類 | 無効 |
| 容器等級 | |
| ADR, IMDG, IATA | 無効 |
| 環境危険:
海洋汚染物質 | いいえ |
| ユーザー用特別予防措置 | 情報なし |

(6ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(5ページの続き)

- | | |
|--|------|
| ・ MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 | 情報なし |
| ・ UN "模範規制: | 無効 |

項目 15: 適用法令

- ・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 化審法

・ 既存化学物質

57-50-1	sucrose, pure	
3483-12-3	(R*,R*)-1,4-dimercaptobutane-2,3-diol	
7664-38-2	りん酸	1-422

・ 特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 優先評価化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 白物質

内容成分はリストアップされていない

・ 既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)

内容成分はリストアップされていない

・ 既存化学物質安全性点検結果(毒性)

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:劇物

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:毒物

内容成分はリストアップされていない

・ 毒物及び劇物取締法:特定毒物

内容成分はリストアップされていない

・ 労働安全衛生法

・ 危険物

・ 爆発性の物(施行令別表第1第1号)

内容成分はリストアップされていない

・ 発火性の物(施行令別表第1第2号)

内容成分はリストアップされていない

・ 酸化性の物(施行令別表第1第3号)

内容成分はリストアップされていない

(7ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(6ページの続き)

・引火性の物(施行令別表第1第4号)

内容成分はリストアップされていない

・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)

内容成分はリストアップされていない

・特定化学物質等

・第一類物質

内容成分はリストアップされていない

・第二類物質

内容成分はリストアップされていない

・第三類物質

内容成分はリストアップされていない

・名称等を通知すべき有害物(別表第9)

7664-38-2 りん酸

618

・製造許可物質

内容成分はリストアップされていない

・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)

内容成分はリストアップされていない

・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)

内容成分はリストアップされていない

・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2)

・第一種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第二種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第三種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・強い変異原性が認められた化学物質

内容成分はリストアップされていない

・消防法

内容成分はリストアップされていない

・海洋汚染防止法

7664-38-2 りん酸

・特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

・特定物質代替物質

内容成分はリストアップされていない

・特定物質

内容成分はリストアップされていない

・大気汚染防止法

内容成分はリストアップされていない

・水質汚濁防止法

・有害物質

内容成分はリストアップされていない

・指定物質

内容成分はリストアップされていない

・GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

(8ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Substrate Reagent

(7ページの続き)

絵表示



GHS07

注意喚起語 警告

危険と定められた成分をラベル表示:

(R*,R*)-1,4-dimercaptobutane-2,3-diol

危険有害性情報

飲み込むと有害

注意書き

取扱い後はよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示も行いうるものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。Revvity, Incは、本製品の取扱又は接触に起因する損害につき責任を負いません。

データシート作成部門: Product safety department.

問い合わせ先: MSDS_Turku@revvity.com

縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity – Category 3

急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity – Category 4

皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation – Category 1B

皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A

* 前の版からデータを変更

JP

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

項目 1: 化学品及び会社情報

- 製品識別子
- 化学品の名称 **Biotinidase Reconstitution Buffer**
- 製品コード 13805676
- 該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途
- 製品カテゴリー PC21 Laboratory chemicals
- 推奨用途
In vitro diagnostics

実験用化学物質

- 安全データシートの供給元の詳細情報
- 供給者の会社名称,住所及び電話番号
Revvity Inc.
Wallac Oy
P.O. Box 10
FI-20101 Turku
Finland
+358 2 2678 111

- その他の情報問い合わせ先:
Product safety department. +358-2-2678 111
MSDS_Turku@revvity.com

- 緊急連絡電話番号
CHEMTREC (米国内から) 800 424-9300
CHEMTREC (米国外から) +1-703-572-3887

日本国内問合せ先:
住所:神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークテクニカルセンター4F
電話番号:045-339-5864
FAX番号:045-339-5874
緊急連絡電話番号:同上

項目 2: 危険有害性の要約

- 化学品のGHS分類



感作性(皮膚) 区分1 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生環境有害性(急性毒性) 区分3 H402 水生生物に有害

水生環境有害性(慢性毒性) 区分3 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

- GHSラベル要素(絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き)
- GHSラベル要素

The product is labelled according to the IVD regulation
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

(2ページに続く)

JP

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(1ページの続き)

絵表示



GHS07

注意喚起語 警告

危険と定められた成分をラベル表示:

reaction mass of: 5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one [EC no. 247-500-7] and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one [EC no. 220-239-6] (3:1)

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

環境への放出を避けること。

保護手袋の着用

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

特別な処置が必要である(このラベルのを見よ)。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

危険な含有成分:

55965-84-9	reaction mass of: 5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one [EC no. 247-500-7] and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one [EC no. 220-239-6] (3:1) 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分2, H310; 急性毒性(吸入) 区分2, H330; 皮膚腐食性/刺激性 区分1C, H314; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1, H318; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400 (M=100); 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410 (M=100); 感作性(皮膚) 区分1A, H317 特定濃度限界: Skin Corr. 1C; H314: C ≥ 0.6 % Skin Irrit. 2; H315: 0.06 % ≤ C < 0.6 % Eye Dam. 1; H318: C ≥ 0.6 % Eye Irrit. 2; H319: 0.06 % ≤ C < 0.6 % Skin Sens. 1A; H317: C ≥ 0.0015 %	≥0.0025-<0.01%
------------	---	----------------

項目 4: 応急措置

応急手当処置に関する説明

一般情報: プロダクトの付着した衣類は速やかに脱ぐこと

吸入した場合

外気を十分に送り込み、安全のため医師を呼ぶ

意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する

皮膚に付着した場合 即刻石鹸と水で洗い、よくすすぐ

眼に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ

飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。

(3ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(2ページの続き)

・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

項目 5: 火災時の措置

- ・消火剤
- ・適切な消火剤 周辺の状況に合わせた消火措置を取る
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- ・特別な保護装備: 特別な措置は必要としない

項目 6: 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 必要ない
- ・環境に対する注意事項
河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
大量の水で薄める
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する
十分な換気を心がける
- ・他のセクションへの言及
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
廃棄処分に関しては 13 項参照

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける
エアゾールの発生を防ぐ
- ・火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管
保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし
- ・同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない
- ・保管条件に関するその他の注意事項: ない
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

項目 8: ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等
- ・作業場において限界値の監視を要する成分:
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・設備対策
- ・技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照
- ・保護具
- ・一般防止措置および衛生措置:
汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ
休憩の前、作業終了後には手を洗う
- ・呼吸保護器具:
短時間
もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装備を使用すること

(4ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(3ページの続き)

手の保護:



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならないテストをおこなっていないため、物質/調合剤/化合物を取り扱う際の手袋の材質として勧められるものはない浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

手袋材

適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない

手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

眼の保護: 詰め替えの際には保護メガネの装着が望ましい

項目 9: 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報

一般指示事項

物理状態	液状
色	透明
臭い	硫黄のような
嗅覚閾値	決まっていない。
融点/凝固点(混合物の場合は、記載省略可)	0 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲	決まっていない
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
下限:	決まっていない。
上限:	決まっていない。
引火点	情報なし
分解温度	決まっていない。
pH 約 20 °C	5.5
粘性:	
動粘性率	決まっていない。
力学的 約 20 °C:	0.952 mPas
溶解度(混合物の場合は、記載省略可)	
水:	完全に混合できる
n-	
オクタノール/水分配係数(log値)(混合物の場合は、記載省略可)	決まっていない。
蒸気圧 約 20 °C	23 hPa
密度及び/又は相対密度	
密度 約 20 °C:	1.02 g/cm ³
相対的密度	決まっていない。
蒸気密度	決まっていない。

その他のデータ

外観	
形:	液体
健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項	
発火温度:	プロダクトは自然発火しない
爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない
溶剤含有量:	
水:	96.0 %
固形物含有量:	0.0 %
分子量	18.02 g/mol

(5ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(4ページの続き)

- 状態の変化
 - 酸化速度
- 決まっていない。

項目 10: 安定性及び反応性

- 反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- 化学的安定性
- 熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- 危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない
- 避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- 混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。
- 危険有害な分解生成物 危険な分解プロダクトはない

項目 11: 有害性情報

- 毒性学的影響に関する情報
- 急性毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 呼吸器に危険 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- 誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

項目 12: 環境影響情報

- 毒性
- 水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- 残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- 生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
- 土壤中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- 内分泌かく乱作用 本製品は内分泌かく乱性物質を含まない
- オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- 他の副作用
- 注: 魚類にたいして毒性がある
- その他のエコロジーに関する注意事項:
- 一般注意事項:
水への危険度分類 1 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性はわずかにある
水生生物にとり毒性がある

項目 13: 廃棄上の注意

- 化学品(残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報
- 勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない

(6ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(5ページの続き)

- ・洗淨されていないパッケージ:
- ・勸告: 特殊廃棄物回収業者に引き渡すか、危険物質集積所に持ち込む
- ・推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使って

項目 14: 輸送上の注意

・国連番号	
・ADR, ADN, IMDG, IATA	無効
・品名(国連輸送名)	
・ADR, ADN, IMDG, IATA	無効
・国連分類(輸送における危険有害性クラス)	
・ADR, ADN, IMDG, IATA	
・分類	無効
・容器等級	
・ADR, IMDG, IATA	無効
・環境危険:	
・海洋汚染物質	いいえ
・ユーザー用特別予防措置	情報なし
・MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
・UN "模範規制":	無効

項目 15: 適用法令

- ・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化審法

・既存化学物質

7778-77-0	potassium dihydrogenorthophosphate	1-452
57-50-1	sucrose, pure	

・特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

内容成分はリストアップされていない

・優先評価化学物質

6381-92-6	EDTA Titriplex III	
-----------	-----------------------	--

・白物質

内容成分はリストアップされていない

・既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)

内容成分はリストアップされていない

・既存化学物質安全性点検結果(毒性)

内容成分はリストアップされていない

・PRTR 制度 - 第一種指定化学物質(令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

・PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質(令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

(7ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(6ページの続き)

・PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:劇物

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:毒物

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:特定毒物

内容成分はリストアップされていない

・労働安全衛生法

・危険物

・爆発性の物(施行令別表第1第1号)

内容成分はリストアップされていない

・発火性の物(施行令別表第1第2号)

内容成分はリストアップされていない

・酸化性の物(施行令別表第1第3号)

内容成分はリストアップされていない

・引火性の物(施行令別表第1第4号)

内容成分はリストアップされていない

・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)

内容成分はリストアップされていない

・特定化学物質等

・第一類物質

内容成分はリストアップされていない

・第二類物質

内容成分はリストアップされていない

・第三類物質

内容成分はリストアップされていない

・名称等を通知すべき有害物(別表第9)

内容成分はリストアップされていない

・製造許可物質

内容成分はリストアップされていない

・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)

内容成分はリストアップされていない

・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)

内容成分はリストアップされていない

・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2)

・第一種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第二種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第三種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・強い変異原性が認められた化学物質

内容成分はリストアップされていない

(8ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(7ページの続き)

・ 消防法

内容成分はリストアップされていない

・ 海洋汚染防止法

内容成分はリストアップされていない

・ 特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

・ 特定物質代替物質

内容成分はリストアップされていない

・ 特定物質

内容成分はリストアップされていない

・ 大気汚染防止法

内容成分はリストアップされていない

・ 水質汚濁防止法

・ 有害物質

内容成分はリストアップされていない

・ 指定物質

内容成分はリストアップされていない

・ GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

・ 絵表示



GHS07

・ 注意喚起語 警告

・ 危険と定められた成分をラベル表示:

reaction mass of: 5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one [EC no. 247-500-7] and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one [EC no. 220-239-6] (3:1)

・ 危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

・ 注意書き

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

環境への放出を避けること。

保護手袋の着用

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

特別な処置が必要である(このラベルのを見よ)。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

・ 化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づく

ものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示も行

ものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべき

ものではありません。全ての化学物質は未知の危険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特

定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証す

ることはできません。Revvity, Incは、本製品の取扱又は接触到に起因する損害につき責任を負いません。

・ データシート作成部門: Product safety department.

・ 問い合わせ先: MSDS_Turku@revvity.com

(9ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.02.13

バージョン番号: 3

改訂日: 2024.02.13

化学品の名称 Biotinidase Reconstitution Buffer

(8ページの続き)

縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the

International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity – Category 3

急性毒性(経皮) 区分2: Acute toxicity – Category 2

皮膚腐食性/刺激性 区分1C: Skin corrosion/irritation – Category 1C

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1

感作性(皮膚) 区分1: Skin sensitisation – Category 1

感作性(皮膚) 区分1A: Skin sensitisation – Category 1A

水生環境有害性(急性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 1

水生環境有害性(急性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 3

水生環境有害性(慢性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 1

水生環境有害性(慢性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 3

* 前の版からデータを変更